



平成24年 1月15日に開催された
第21回豊前市子ども会連合会カルタ大会の様子

市議会だより

目次 CONTENTS

平成23年12月定例会 議案審議結果・議案の概要	2P
一般質問	3P
常任委員会視察報告・編集後記	12P



ぶぜん

No.75
平成24年 1月

議会へのご意見をお寄せ下さい

■発行/豊前市議会 ■豊前市大字吉木955 TEL.82-1111 内線1311
■ホームページ / <http://www.city.buzen.lg.jp>

平成23年12月定例会 議案審議結果

「○」……賛成 「●」……反対
「議長」……議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	福井昌文	鎌田晃二	岡本清靖	榎本義憲	今本文徳	尾澤満治	山崎廣美	古川哲也	爪丸裕和	磯永優二	渡邊一	中村勇希	山本章一郎	秋成茂信	尾家啓介	岡田義則	吉永宗彦	賛成	反対
議案第47号	豊前市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	16	0
議案第48号	豊前市職員の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	議長	○	○	○	○	15	0
議案第49号	豊前市税条例等の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	16	0
議案第50号	豊前市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	16	0
議案第51号	中津市との間における定住自立圏の形成に関する協定の一部変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	16	0
議案第52号	工事委託に関する協定の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	16	0
議案第53号	平成23年度豊前市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	16	0
議案第54号	平成23年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	16	0
意見書案第10号	公共輸送機関の存続へ向け、JR九州等に係る経営支援等に関する意見書(案)の提出について	原案否決	●	●	●	●	○	●	●	退席	●	●	●	●	議長	●	○	●	○	3	12
意見書案第11号	鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書(案)の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	16	0
意見書案第12号	防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書(案)の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	16	0
同意案第4号	副市長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	16	0

議案の概要

平成23年第5回定例会は、11月30日から12月16日までの17日間の会期で開催されました。

本定例会には、条例4件、予算2件、その他の案件2件の合わせて8議案が提出され、それぞれ所管の常任委員会で審査され、すべての議案が原案どおり可決されました。

議員より意見書案3件が提案され、「鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書案」及び「防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書案」については全会一致で可決されましたが、「公共輸送機関の存続へ向け、JR九州等に係る経営支援等に関する意見書案」については、賛成少数により否決されました。

市長より人事案件1件が出されましたが、市長提案のとおり同意されました。

同意案件

副市長の選任について市長からの提案のとおり、全会一致で同意しました。(敬称略)

豊前市大字八屋

後小路 一雄

中津市との定住自立圏の形成に関する協定の一部変更について

圏域への定住及び移住を促進するため、空き家情報や分譲地情報をそれぞれのホームページで発信し、相互リンクすることで情報を共有するとともに、連携して受入れ体制の充実に向けた調査研究を行うことを追加する変更協定でありましたが、全会一致で可決されました。

公共輸送機関の存続へ向け、JR九州等に係る経営支援等に関する意見書(案)

ローカル線を多く抱えるJR九州、北海道、四国と貨物の4社には経営支援策として国が固定資産税の減免など税制特例を設けていますが、平成24年3月末で期限切れを迎えます。支援策がなければ安定的な経営と地域交通の確保が難しい状況であるため、特例措置等の継続を求める意見書でありました。付託された総務委員会では、不景気で他の企業も苦しい状況にある中、JRだけの特例措置は納得がいかないとの意見が出て、採決の結果、賛成者なく否決となりました。また、本会議においても賛成少数により否決となりました。

平成23年第5回(12月)定例会 一般質問

日程	会派名	構成員	質問項目
12月7日(水)	新世会	山崎 廣美 秋成 茂信 今本 文徳	市民プールの新設 公職選挙法 避難場所に海拔標識(標柱)の設置 特産品ブランド化 有害鳥獣対策
	ぶぜん風の会	岡本 清靖 尾澤 満治 山本章一郎	環境問題地域との連携 交流で人口増対策 豊前の農業・林業・漁業のゆくえ 豊前市都市計画マスタープラン 防災
12月8日(木)	同志会	渡邊 一 岡田 義則 爪丸 裕和 福井 昌文	学校教育 防災対策 道路整備 福祉 指定管理者
	無会派	鎌田 晃二	学校教育等
	健友会	吉永 宗彦 尾家 啓介 古川 哲也	太陽光発電の推進 政治倫理条例の県内ランキング 固定資産税率変更による歳入・歳出に対する影響 準要保護世帯の就学援助基準 豊前市消防団の消防車輛
12月9日(金)	豊友会	磯永 優二 中村 勇希 榎本 義憲	福岡県市町村災害共済基金組合 教育の充実 豊前市コンパクトシティ特区申請

■ 会議録閲覧のお知らせ ■

議会だよりに掲載した一般質問は、実際のやりとりのごく一部です。詳細を知りたいかたは、総務課・議会事務局にある「会議録」をご覧ください。

また、豊前市のホームページにも「会議録」を掲載していますので、ご覧ください。

新世会 の質問

市民プールの新設

今本議員 私は、36年にわたって市民プールで子どもたちに水泳指導をしてきた。老朽化も目立ってきたが、この5年間で修理代がどのくらいかかったのか、お聞きしたい。

教育課長 この5年間では、修理代は、多い年で約120万円、少ない年で約30万円となっている。

今本議員 市民プールは、海に近いし、周りに樹木も多い。自然環境は申し分ないが、交通の便が悪く、犯罪が起きかねないので、もっと交通の便の良いところにプールを新築してはいいかか。

市長 プールがへんびなところにあるという指摘は尤もと思うが、プールを使う期間が1〜2か月であり、効果の面でどうかということも含め、検討してみたい。

公職選挙法

今本議員 市から補助金をもら

っている団体が、特定の候補者を推薦するということについては、公職選挙法上どうなのか、お尋ねしたい。

選挙管理委員会事務局長 団体内部で推薦を決めるということ自体は法違反とは言えない。ただ、外部に宣伝するようなことなどについては、違反になる可能性がある。

今本議員 市から補助金をもらっている団体が特定の候補者のために行う運動について、仮に法に違反しないとしても、道義的な面ではどうなのか、お伺いしたい。

選挙管理委員会事務局長 道義的な問題についての活動に関しては、法の範囲内の活動であれば、選挙管理委員会としては当該団体にあれこれ申し上げることはできない。

今本議員 公務員が選挙の事務所開きに行ったり、激励をしたりするのは、公職選挙法に触れるのか、お聞きしたい。

選挙管理委員会事務局長 公務員は、一般職の公務員と特別職の公務員に分けられるが、一般職の公務員については、選挙区内での選挙運動は禁止されており、特別職の公務員は、地位利用による選挙運動が禁止されている。また、教育公務員は、地位利用ができないこととなって

いる。

今本議員 市から補助金をもらっている団体が、特定の候補者のために運動をした場合には、補助金をカットするような考えがあるか、お尋ねしたい。

市長 大事な問題だと思うので、精査して市民レベルで対応していきたい。

今本議員 公職選挙法を正しく理解するために、啓蒙・啓発をしっかりとやっていただきたい。

避難場所への 海拔標識の設置

今本議員 東日本大震災の影響で、豊前市でも、地震や津波は怖いと思っている人がかなり増えたようだ。ただ、どの場所がどのくらい海拔があるのか分からないという声をよく聞く。市が作成した防災マップには、避難場所の海拔が表示されているのか、お伺いしたい。

総務課長 平成23年6月号の広報ぶげんと市のホームページには掲載したが、防災マップには掲載していない。

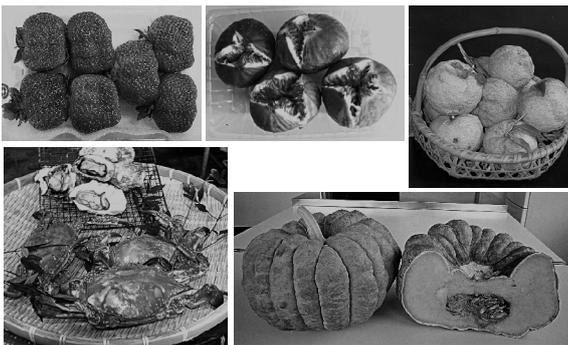
今本議員 高齢者は、ホームページなど見ていない人が多いと思うので、学校や公民館、避難場所には緯度・経度・海拔を表示した標識を設置してはいいかがか。
教育長 総務課と十分協議しな

から、そういった標識の設置を考えていきたい。

特産品のブランド化

山崎議員 農林水産業で、特産品と言えるものは何か、どのような推進をしてきたか、お聞きしたい。

農林水産課長 農産物では、ユズ、三毛門かぼちゃ、イチジクのとよみつひめ、イチゴのあまおうなどで、ユズや三毛門かぼちゃは加工販売されている。林業では、京築ヒノキのブランド化に取り組んでおり、水産業では、豊前海一粒カキ、豊前本ガニなどをブランド化し、販売普及に取り組んでいる。



山崎議員 合河のゆず祭りは最近来客が非常に増え、とてもいいことだと思うが、肝心のユズがないということが以前何度かあった。せっかくブランドとして定着し始めているのに、これではいままでの努力が水泡に帰してしまふ。ユズの木の植替えをして、途切れることのないようにすべきではないか。

農林課長 平成20年に、千本ほど新たに植えた。また、地元でも取り組んでいる。

山崎議員 三毛門かぼちゃを使った39度の焼酎は非常に評判がいいが、買おうと思っても、なかなか手に入らないようだ。せっかく特産になるうとしているのに、これではいかかと思うが、市の考えはどうか。

農林水産課長 今年度、三毛門駅近くにかぼちゃの加工場を作った。これを地域振興の起爆剤として活用し、乾燥を含め色々商品化するよう、地元をお願いしている。

山崎議員 豊前本ガニも少ないときが多いようだ。ちよっと大きくなると、1尾3、4千円もする。これでは、なかなか買えない。ガザミの蓄養施設があると思うが、どうなっているのかお尋ねしたい。

農林水産課長 近年、水産資源

が激減しているのが実情だ。漁をするだけでなく、育てる漁業も推進していきたい。

山崎議員 漁業が衰退することは、なんとしても避けなければならぬ。消費者の皆さんが安心しておいしいものを安心して食べられるよう、推進していくべきと思うが、いかがか。

農林水産課長 漁協組合や水産試験場とも相談しながら、検討していきたい。

有害鳥獣対策

山崎議員 今年度は、豊築地区だけでなく、中津市とも連携しながら、有害鳥獣駆除に取り組んだこともあって、非常に大きな成果があった。今年度の捕獲実績を教えてください。

農林水産課長 23年度は、シカ71頭、イノシシ16頭で、合わせて87頭だ。

山崎議員 私が昭和53年に、豊築猟友会に入ったときは、会員が370人いたが、今は139人しかいない。そのうち、豊前市は58人で、そのほとんどが高齢化している。有害鳥獣駆除の人数は、銃器の場合豊前市が20人と決められているようだが、ワナは全員参加できるよう検討してはいいかがか。

農林水産課長 ワナについては、今年度新たに11人免許を取得していただいたので、猟友会と相談しながら人員増を考えていきたい。

山崎議員 以前、イノシシやシカの肉をブランド化し、加工販売してどうかと提案した際、みやこハムと協議をするという答弁だったが、その後の経過はどうか、お聞きしたい。

農林水産課長 みやこハムと協議をしたが、食の安全が保障されるもので、なおかつ許可を受けた加工場で処理したものでなければ、扱えないということであつたので、その後の協議は進展していない。

山崎議員 豊前市単独ではなく、築上町や上毛町と協議をして豊築で1か所処理施設を作ってはいかがか。

市長 厳しい状況にはあるが、山を抱える所の共通の課題であるので、相談をさせていただきたい。



風ぶのぜんの質問

環境問題 地域との連携

岡本議員 合河にある養鶏場の悪臭とハエは、周辺地域の方々に大きな迷惑をかけている。その対策として、事業所から改善計画書が提出されているが、市の考えを聞きたい。

生活環境課長 改善計画では、悪臭とハエを軽減するため、鶏糞の乾燥を主とした「ゲージシステム」を導入したいようだ。現在は、施設の改造等で継続使用が可能かどうか調査しており、その後、整備・構造設計、経費の試算等を行うようだ。今後も、改善計画の進捗状況や養鶏場の環境について指導していきたい。

岡本議員 施設の改造費の問題だが、事業所は「努力する」という回答のようだ。自己資金を使ってやればいいが、補助等がある場合は、市や県がどこまで支援していくかという気持ちなのか、伺いたい。

農林水産課長 この事業所は、

農業者である。認定農業者等に助成する融資制度を活用したいが、それには、認定農業者になることが条件である。改善計画書をもとに検討したいと思う。

岡本議員 地域の人たちの雇用も含めて建てられた施設であり、事業所と地域の連携も必要である。今後、行政側として、この問題について一生懸命、取り組んでいただきたい。

交流で人口増対策

岡本議員 農家民泊だが、都会の方々が憩いや癒しを求めて、農山村の方々と交流をしている。そんな中で、森林の良さ、河川の美しさ、住みよい所などのアピールをすれば定住、そして人口増につながると思つている。受け入れる地域の方々も協同で取り組みを進めているが、やはり行政の支援が必要である。市の考えを伺いたい。

市長 豊前市でもやろうと言う事で、県も後押ししている。組織的にしっかりと相談をして、進めていく必要があると思う。

岡本議員 都会の方々に来てもらいたい、山間部には光ファイバーが届いていないため、不便を感じているが、市長はどう思うか。

市長 市では、N T Tに整備してもらおうよう要請している。

岡本議員 小・中一貫校について、市の考えを伺いたい。

教育課長 文部科学省の調査では、児童・生徒に関する情報共有が進み、きめ細かい指導が可能であるという成果が上がつてきている。しかし、免許の関係で小・中の兼務等の課題があるようだ。教育委員会では、小学校の外国語活動と中学校の外国語科との円滑な接続を図る連携など、小・中学校の連携を重視して、教育活動の展開をしているところだ。

岡本議員 現在、大村小学校と合岩小学校が小規模特認校に指定され、市報等で学校のPRをしているが、なかなか生徒が入つてこない。そこで、何かメニューを考える必要があると思つたが、合岩小学校では、学童保育を6年生まで受け入れてはどうか。

福祉課長 学童保育は、3年生までの利用としている。まずは、未開設である、横武小学校区・大村小学校区の開設に努めていきたい。



豊前の農業・林業・漁業のゆくえ

岡本議員 先日、ソバの振興について、豊後高田市を視察した。ここは、市の農林振興課が道を挟んだ農協の中に設置しているため、各事業に対し、すぐにお互いの連携が取れるとのことだ。また、農業の専門職を配置しているようだ。豊前市でもそういった考えはないか。

市長 この件については、知恵を出して考えたい。

岡本議員 豊前市内のソバの作付面積は少なく、この量ではブランド化は難しいと思う。これは、地域の方々が協同で行うことが大事であり、行政の支援もお願いしたいが、いかがか。

副市長 私も視察に同行したが、豊後高田市は、大分県下で一番のソバの生産地であり、ブランド化に向けて頑張っているようだ。求善提ソバ振興組合の方々も参考になったと思う。今後は、行政としてできることについては、支援したいと思う。

岡本議員 荒廃森林対策で、一生懸命、森林組合が山の手入れをしているが、林業の後継者問題が言われている。市として、施策や支援についてお伺いしたい。

農林水産課長 森林組合の核となる林業者と連携し、経費削減や計画的・安定的な木材の出荷等を行い、山林所有者に負担をかけない林業を推進したいと考える。

豊前市都市計画 マスタープラン

尾澤議員 平成22年度から20年間の計画で「豊前市都市計画マスタープラン」が策定されているが、その位置づけについて伺いたい。

まちづくり課長 この計画は、豊前市における将来の土地利用、交通体系及び市街整備の方針などを明らかにすることを目的としている。豊前市の都市計画に関する基本的な方針という位置づけである。

尾澤議員 では、どのような方々が関わって策定されたのか。

まちづくり課長 策定にあたっては、アンケート調査を実施し、住民代表、見識者、各種団体、議員等で構成された策定委員会の意見を反映、また、庁内関係部署で作られた検討委員会の中で審議された。

尾澤議員 計画の中で、平成42年の将来の目標人口を、2万7000人としているが、これは、20年後も現在と同じ人口を

維持するということだが、その根拠を伺いたい。

まちづくり課長 人口増対策の取り組みや、人口の定住化を指した、各種施策を展開することで、現状を維持するという目標設定となった。

尾澤議員 コンパクトシティづくりということで、北高跡地のエリアを拠点に位置づけしているが、どのような集約形のコンパクトシティを作っていくのか、伺いたい。

まちづくり課長 市では、北高跡地、青豊地区等も含んだ中でコンパクトシティを作り上げていきたい。駅前広場や宇島駅周辺の施設の整備を図りながら、将来目標としては、この一帯に、商業施設や金融機関、医療機関等を集約化していきたい。

尾澤議員 東九州道の豊前IC周辺の新拠点ゾーンは、豊前市の「顔」になると思う。新たな玄関口として、観光案内板等を設置し、情報発信してはいいかが。

まちづくり課長 情報発信拠点として、観光案内板また誘導板などを設置し、東九州道や国道10号の利用者に対して、観光地や中心市街地の案内をしていきたい。



東九州道工事（鳥越地区）

尾澤議員 工業団地の企業誘致推進だが、東部工業団地と塔田・吉木地区について、市の考えをお聞きたい。

まちづくり課長 現在、東部工業団地に隣接する小石原地区において、新たな工業団地の拡張に取り組んでいる。塔田・吉木地区は、以前より工業団地の候補地として考えられていたが、今回、マスタープランの中で長期的に新たに工業団地の整備を検討する地区として、整備プログラムに位置づけしたところだ。

防災

尾澤議員 11月13日に行われた

防災訓練だが、地震の想定規模や市民の参加状況について、伺いたい。

総務課長 市役所を中心に半径1km圏内を対象とし、市民の方107名・市職員156名の参加のもと、周防灘沖を震源とする震度6弱の地震が発生し、津波警報が発令されたとの想定で実施した。避難後は、消火訓練や緊急地震速報の説明等を受けた。

尾澤議員 今回、訓練をして、今後はどういった形で実施するのか、また、減災対策について伺いたい。

総務課長 参加者や協力を頂いた各団体の意見を十分尊重し、より良い形で各地域で実施していきたい。減災については、防災行政無線の整備・市全域に自主防災組織の設立・緊急速報「エリアメール」を導入するなど、市民の皆様により迅速に情報伝達でき、安心・安全が確保できるように努めていきたい。

尾澤議員 今回の、東日本大震災では、義援金の配分方法で色々な課題があったようだ。市は、何か対策を考えているのか。

総務課長 自治体独自の義援金や寄付金の窓口の設置については、今後、十分に検討する必要があると思う。

同志会 の質問

学校教育

福井議員 大村小学校は全校で児童が14人のため、保護者は複式学級のことを心配している。複式学級に関する教育委員会の取組みを伺いたい。

教育課長 6〜7年前から市が非常勤講師を1名配置することにより、複式学級が1クラス解消されている。

福井議員 児童数は少ないが地元は学校をなくしてほしくないみたいだ。学校がなくなることで地域が衰退化するのではと考えている。児童数増に対する市としての考えを教えてください。

教育課長 学校を存続させる目的で特認校制度を導入した。それが機能するよう教育委員会としてもPRに努めたい。

福井議員 中学校で新たに部を作って部活動をやりたいと生徒や保護者から要望があった場合の教育委員会の対応をお聞きしたい。

教育課長 部活動については、学校で部活動を教えることが可

能かどうかを人員配置等で学校に判断してもらう。その後、学校から申し出があれば教育委員会としても承認したい考えた。

爪丸議員 自分の子どもさえ良ければ良いというような保護者、いわゆるモンスターパーアレントが県下で154件確認されているみたいだ。そのような保護者への対応を伺いたい。

教育長 学校内で起こったさまざまな問題に対して、迅速で誠意ある対応をするよう各学校に指導をしている。また、福岡県では、そのような保護者への対応に関する学校問題解決ハンドブックを作成し、県内の各小中学校に配布している。

爪丸議員 この国は法治国家であるように、学校に行けば学校の校則や規律が当然ある。それらを乱すような行為には出席停止等の厳しい処分が必要と思うが、教育長の考えを伺いたい。

教育長 出席停止は非常に重い処分である。内容を保護者、学校、教育委員会等が十分精査し、その処分が妥当かを判断して決めたい。

防災対策

福井議員 東日本大震災では津波により多くの生命や財産が奪

われた。ここ周防灘でも津波が起る可能性はあり、最大で2.6m程度と聞いているが、詳細をお聞きしたい。

総務課長 津波の想定する高さだが、福岡県ではシミュレーションができていないため詳細は不明だ。県は現在、専門の委員会を設置し検討しており、シミュレーションができたら豊前市においても防災計画の見直しを行いたい。

福井議員 津波の高さに関して2.6mと言ってもどの位の高さなのか市民は分からないと思う。市役所や避難所などの外壁に高さ標識を設置してはどうか。

総務課長 来年度の予算で要求しており、避難所や主要な建物に標高の標識を設置する予定だ。

福井議員 角田や山田の防災サイレンが鳴らないようだ。サイレンは一番の緊急連絡方法だと思うので改善をお願いしたい。

総務課長 角田のサイレンは修繕により改修できた。山田は崩れており、今度防災無線を市内60箇所に設置する予定のため、それで解消されると思う。

道路整備

渡邊議員 基幹道路の整備は地域振興にとって大変重要と考え

る。豊前市にとって一番の基幹道路は東九州自動車道と思うが、完成予定はいつ頃になるのか伺いたい。

建設課長 平成28年度完成の予定であるが、2年前倒しの26年度の供用開始に向けて工事等を行っていると。

渡邊議員 東九州自動車道の完成が見えてきた今、次の手を考える時期と思う。自動車産業の振興を促進するため、周防灘臨海道路の推進をすべきと思うが、市長の考えをお聞きしたい。

市長 2兎を追うものは1兎をも得ずということもあり、まずは東九州自動車道の建設を推進してきた。しかし、ここに来て東九州自動車道の完成が見えてきたので、次は臨海道路を進めていく気持ちだ。

渡邊議員 日本は3月11日の震災で、また、タイは水害で自動車関連の企業は大変だった。中津から北九州までのアクセスができることにより、自動車関連の企業の進出が見込めると思う。今、地元が大いに建設の促進をすべきと思うがいかがか。

市長 円高になり企業は海外九州への進出を考えていると思う。今後はより詳細な情報収集を行い頑張っていきたいと思う。

福祉

福井議員 全国的に高齢化が進み認知症患者が増え続けている。認知症を正しく理解し、日常生活の中で支援する認知症サポーターについて6月議会でも質問をしたが、その後の状況を伺いたい。

福祉課長 認知症の原因や症状等について正しく理解し、窓口業務の円滑化に役立てるため、福祉課や市民健康課等の窓口職員を対象に養成講座を実施する予定だ。

福井議員 窓口職員以外の者に対する受講はどのように考えているのか。

福祉課長 今回は窓口職員を対象だが、その後は市役所職員に対象を広げ、最終的には包括支援センターと協議しながら、地域住民に対して受講を促していきたい。

福井議員 移動手段を持たない高齢者等の買い物弱者について6月議会で質問をしたが、その後の取組み状況を伺いたい。

福祉課長 65歳以上を対象にアンケートを実施したところ、買い物に不便を感じるなどの回答が約2割あった。しかし、まちづくり課の調査で移動販売等の活

動を行っている事業所が多数あることも分かった。今後はより詳細な情報収集を行い、多くの市民への情報提供に努め買い物弱者対策を図りたい。

爪丸議員 市内では高齢者向けに配食サービスを行っていると思うが、介護認定などを受けた人のみが対象なのか伺いたい。

福祉課長 基本的には高齢者のみの世帯で自分では調理が困難な世帯の方を対象にしている。

指定管理者

爪丸議員 ト仙の郷の利用客が年々減ってきているようだが対策等を伺いたい。

農林水産課長 宿泊客、入浴客がともに少なくなっている。近隣に同様の施設が増えたことと経済が冷え込んでいるためと考える。企業努力も重要と思うのでその点を指導しながら利用客増に努めたい。

爪丸議員 県内はもとより、大分県や熊本県からのお客を送迎するなどの企業努力が大切と思うが、今後の集客努力について

伺いたい。

農林水産課長 しゃくなげ祭等の地域のイベントとの連携や求菩提の歴史と温泉など新しい取り組みを企画して集客に努めていきたい。

爪丸議員 図書館の本の貸出数も減少しているが、理由をお聞きしたい。

教育課長 21年度は移転作業があり落ち込んでいるが、今後は増えてくると思う。



豊前市立図書館

爪丸議員 貸出数ではなく、実際の入場者数はわからないのか。

教育課長 今までは貸出カードで管理していたため入館に関する調査はおこなっていなかったが、23年6月からカウンターを設置しカウンタを始めた。それによると、10月までの貸出しが約1万3000冊に対して、入

館が約2万6000人となっており、倍の数である。

爪丸議員 民間に指定管理をお願いすることでサービスが向上し、利用客が増えることを期待している。豊前市もイベントを数多くおこなって図書館の利用拡大を図ってはどうか。

教育課長 年に2回図書館祭を開催しているが、アピールが足りないとのことで、今後はホームページなどで広くPRに努めたい。

無会派の質問

学校教育

鎌田議員 全国市長会が、文部科学省を頂点とする縦系列の中で、自主的な活動の弱さや教育関係者以外との接触の希薄さに伴う閉鎖的な印象、首長との関係等を指摘し、様々な問題がある教育委員会を市町村長へ移管すべきと発表している。また最近では、経済界や行政学者等から縮小、廃止の意見が出ていることについて、どう思うか。

教育長 福岡県では、法的に可能な分野については、教育委員会外の知事部局に移管してい

る。政治的中立性の確保や教育の継続性の確保等の観点から、あまり好ましくないと考えている。

市長 教育委員会のあり方が、改善すべきことは改善する必要があるが、市町村長が全部してしまうというふうには思っていない。

鎌田議員 以前、小学校の校門で朝の「あいさつ運動」に立った事がある。校長先生も一緒に立ち、その後、他の先生方も参加するようになったが、1週間もしないうちに校長先生以外の先生方は誰も立たなくなった。その理由はなぜだと思うか。

教育長 校長や教頭が代表して「あいさつ運動」をするというやり方もある。先生は、やはり教室で子どもを迎えて、健康状態等を把握し、授業に臨んでもらいたいというのが大きな理由だと思ふ。

鎌田議員 後から聞いた話だが、「あいさつ運動」に立つ先生と立たない先生と統制が乱れる。また、残業手当の話もあつたようだ。子ども達のために「あいさつ運動」をすることが、こんなに難しいことなのか、先生が自主的に立てないのかと疑問に思ったことがある。「あいさつ運動」には、先生方も立てるように指導をお願いしたい。



鎌田議員 不登校の対策として、市はどのような対応を行っているのか、伺いたい。

教育課長 まず、学校内で組織的にサポートチームを作って、家庭訪問や声かけを行っている。また、スクールカウンセラーの活用や豊前市適応指導教室（しゃくなげ教室）との連携によりカウンセリングを受けてもらったりしている。

鎌田議員 他市では、訪問指導員やスクールソーシャルワーカーの配置やホームスタディ制度を活用し、生徒の学習の場を提供するなどの取り組みを行っているが、市でも検討をお願いしたい。

教育課長 今のところ予定はない。ただ、中学校で例をあげると、教頭やその時間帯に教科をもたない教員は、家庭訪問に行ったりはしている。

鎌田議員 以前、一般質問でお願いしていたが、読書活動推進に必要な学校図書室の充実につ

いて、市の取り組みを伺いたい。
教育課長 平成21、22年度で、子ども達や先生方が利用しやすくなるように図書の整理や、管理システムを導入といった環境整備を行った。また今年度の図書費は、今までの2倍の予算を計上し図書の充実を図った。

鎌田議員 現在、市はブックスタートで4ヶ月児健診時に絵本をプレゼントしているが、他市では、その他に、3歳児健診等でセカンドブックやサードブックをプレゼントしているところもある。市も実施したらどうか。

教育課長 今のところそういった考えはない。また、健診時には、ただ絵本をプレゼントするだけではなく、ボランティアによる読み聞かせなどもしている。親子の心の栄養ということ、今後も充実したいと思つている。

鎌田議員 平成20年に教科書バリアフリー法が成立されているが、市では、^{※1}デイジー教科書を使うなどの支援が必要な児童はいるのか。

教育課長 現在、特別支援学級に在籍する中では、そういった教科書を使う児童はいない。
鎌田議員 この教科書は大変分かりやすく、いろんな方にも適用できると思うので、今後、導入について検討してもらいたい。

※1 デイジー教科書

発達障害・視覚障害等で読みが困難な児童・生徒のために、通常の教科書の内容を、パソコンなどを活用して、音声や文字で同時に再生できるようにしたもの。

鎌田議員 教員のメンタルヘルス対策についてだが、現在、全国的に精神疾患の教員が多いと聞く。市では早期発見・予防に対し、臨床心理士による勉強会や健診の際にメンタルヘルスチェックシートを導入するといった取り組みへの考えはないのか。

教育課長 市では、教員の過重労働対策として、チェックシート等を配布し、その中で学校長の面談、それから産業医に行くという流れを作っている。また、教育委員会に来たときは、極力、声かけをして、対話の中で確認をしているところである。

鎌田議員 まずは、疾患になる前の予防が大事である。先生の元気がなければ子ども達の教育に多大な影響を与えると思うので、教員の大変さを理解し、きめ細やかな対応をしてもらいたい。

健友会の質問

太陽光発電の推進

吉永議員 福島第一原発の事故により、原発の安全神話は完全に崩壊した。今後は、自然エネルギーの活用が増えてくると思われるが、豊前市の現状や今後の取り組み等について、お尋ねしたい。

生活環境課長 豊前市では、平成21年度より家屋に太陽光発電システムを設置する方に対し、補助金の交付を行っている。21年度は申請件数43件で、補助金総額が約780万円、22年度が79件で、785万円、23年度は、まだ年度の中途だが、補助金はすべて支出済みで、現在のところ、112件、補助金総額1105万円となっている。

また、国会では、再生可能エネルギー法が可決し、電力会社の全量買取制度が24年7月から実施される予定だ。豊前市としても、今後、このことを踏まえ、検討していきたい。

吉永議員 例えば、北高跡地の多目的文化交流センターに、太

陽光発電のパネルを設置しているが、どれだけのメリットがあるのか、教えていただきたい。

教育課長 多目的文化交流センターは、平成22年10月末にオープンしたが、翌23年3月までの5か月間で、推計で約45万円程度の節電ができていいると思われる。

吉永議員 節電や環境保護という観点から、太陽光発電の推進を図り、豊前市を太陽光発電の基地とするような考えはないか、お尋ねしたい。

市長 太陽光発電については、原子力に代わるものとして、一生懸命取り組むべきと考えている。



豊前市立埋蔵文化財センター

政治倫理条例の県内ランキング

吉永議員 先日、新聞に、市民

オンブズマン福岡が実施した政治倫理や情報公開に関する福岡県内のランキングが掲載されていた。政治倫理については、豊前市は100点満点中、51点で、県下57自治体の中で41位だった。執行部として、今後、リンクを引き上げ、市民の信頼や期待に応えていくために、検討する用意があるのか、聞かせていただきたい。

総務課長 豊前市の政治倫理条例は、議員については平成8年に、市長等については平成9年にそれぞれ制定されている。減点の原因は、議員の資産報告や請負制限の範囲等の項目が不十分であることなどが挙げられる。執行部だけで決められるものではないので、今後、議会とも協議をし、市民の理解が得られるような条例にしていきたい。

なお、情報公開のランキングについては、情報公開条例の改正や市長の交際費の公開などにより、前回の58位から18位へと大幅にアップした。

吉永議員 政治倫理のランキング1位は、築上町だった。条例の条文だけでなく、中身もしっかり見ていく必要があるとは思いますが、公表された数字があなたも自治体の顔のように見られるということも考えられるので、市民の信託に応え、市政の公正

な推進に寄与するためにも、議会サイドに協議の申し入れをしてはいかかと思う。

固定資産税率変更による予算への影響について

尾家議員 市長は、1期目の選挙の際に、固定資産税率の引下げを選挙公約にしていた。念願かなって今年度から税率を1000分の15に引き下げたが、どのように評価しているか、お聞きしたい。

市長 以前から実施しようという気持ちだったので、できてよかったというのが本音だ。

尾家議員 税率の引下げにより1億600万円の税収減となるようだが、市民サービスへの影響はないのか、お尋ねしたい。

財務課長 これについては、主に職員の人件費の削減によって捻出した。10年前と比較して約6億円の人件費削減を図っている。平成23年度予算には、市民サービスへの影響が出ないよう配慮している。

尾家議員 市長が初当選したときは、市の人口は3万人を超えていた。今、28000人を割っている。推計によれば、将来22000人というデータもある。そうだとすると、今後も税収は下がると思われるが、その

点についてどう考えているか、お尋ねしたい。

財務課長 既存の地域資源を最大限に生かした施策や企業誘致を含めた地域産業の活性化を図ることによって、税収増を目指していきたい。

尾家議員 今後、益々財政状況は厳しくなると思うが、市民サービスを削ることなく、温かい市政を継続していただきたい。

準要保護世帯の 就学援助基準

尾家議員 準要保護世帯の就学援助について、どのように理解しているか、お尋ねしたい。

教育長 経済的な理由により就学困難な児童・生徒に対し、義務教育に係る費用を一部負担する制度であると理解している。

尾家議員 その所得基準は、生活保護の所得基準より高いようだ。生活に困っている家庭を支援するというのであれば、生活保護の基準と同じにすべきと思うが、いかがか。

教育課長 京築2市2郡の自治体は、本市を含め、どこの自治体も児童扶養手当の認定基準を採用しているのが、現状だ。

尾家議員 最近、準要保護世帯数が増えているようだ。安易に認めるのではなく、厳しくチェ

ックをしてほしい。本当に困っている人を救済するためにも、そうすべきと思っているが、いかがか。こども手当は、優先して子どものために使うように、保護者に対し、啓蒙啓発をしていただきたい。

教育長 各学校には、厳格な対応をするよう指導している。未納がある場合は、こども手当をそちらに充てるような方法もあるということも強く指導していきたい。

消防団の消防車両

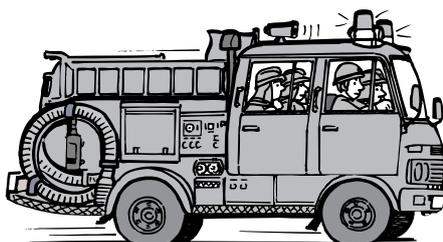
尾家議員 消防体制には、広域消防（消防署）と地域消防（消防団）がある。地域消防の役割は何か、お聞きしたい。

総務課長 火災が起こった場合に、まず第一に、地元の消防団が他のどこよりも早く現場に駆けつけ、初期消火に対応できるということだと認識している。

尾家議員 豊前市の消防団にはポンプ車と積載車があるが、初期消火には、積載車が一番使いやすいのではないかと思うが、いかがか。

総務課長 現在、消防団には、ポンプ車が14台、積載車が3台、軽の積載車が1台、合わせて18台の消防車が配備されてい

る。災害形態も色々で、地域によって地形も異なるので、同一機種の配備では消防戦術が限定される。あらゆる災害に対応できるよう、バランスを考えながら、配備していきたい。



尾家議員 多種多様な災害に対応するため、性能の異なる機種を導入することにはもちろん賛成だ。ただ、そのために、広域消防があるのではないか。地域消防は、初期消火を第一に考えるということであれば、積載車で十分と思う。また、積載車であれば、1台あたり数百万円だが、ポンプ車になると、千数百万円で、一千万円も差がつく。財政状況の厳しい中、必要以上の投資はよく考えるべきだ。消防車の配備についての基本計画をしっかりと策定すべきと思う

が、いかがか。

総務課長 消防車の配備については、関係機関で既に協議済みとのことなので、粛々と進めていきたい。しかし、見直しの必要が生じたときは、関係機関と十分協議した上で、基本計画を作っていきたい。

豊友会 の質問

福岡県市町村 災害共済基金組合

尾家議員 災害に備えて県内全市町村が拠出した基金を運用する災害共済基金組合が解散するみたいだ。東日本大震災以降、災害への備えが重視されている今、解散することについて、市長の考えを伺いたい。

市長 解散することで豊前市に約1億7000万円の基金の返還があるみたいだ。基金の主旨を活かしながら使って行こうと考えているところだ。

尾家議員 市は屋外用の防災無線の設置を検討しているようだが、約1億7000万円の返還金があるのならば、室内用の防災無線を配布してはどうか。

市長 財政状況が厳しい中、それだけに使うとは言い切れない。議員の提案をしっかりと見極めながら、返還金を有効活用していきたいと思う。

尾家議員 執行部だけで考えるのではなく、有識者などを交えた検討委員会を設置し、返還金の活用方法を考えてはどうか。

市長 検討したい。

教育の充実

尾家議員 地方税法の改正により年少扶養控除が廃止となり市税が増税になる。その増税分を保育所の運営に係る国庫補助金の廃止の財源にしたいと国は考えているようだ。その法案が通ると大変になると思うが、市長の考えを伺いたい。

市長 豊前市の場合には大幅な負担増となり、国の無責任な政策だと思う。地方は皆反対しているので、今の情勢であればできないと思う。

尾家議員 教育行政の中で学校づくりは大変重要と思うが、教育委員会が目指す学校像はどうあるべきか伺いたい。

教育長 子どもの生きる力を育む信頼される学校を目指し、「学校力の強化」「教師力の強化」「発信と連携の強化」の三つの重点

目標を各学校に周知している。

榎本議員 学習指導要領の改訂で23年度は小学校の、24年度は中学校の授業時数が大幅に増える。23年の3月議会で授業時数の関係で問題になった。今回、保護者への説明はしっかりできているのか、お聞きしたい。

教育長 各学校がPTA総会やいろんな会議等で周知している。

榎本議員 授業時数確保のため行橋市や苅田町では2学期制を導入している。豊前市においても検討してはどうか。

教育長 2学期制についてはメリット、デメリットがあると聞いている。最近では2学期制から3学期制に戻す自治体も増えているようなので、メリット、デメリットを十分検証したい。

榎本議員 ある学校では理科の教員がいなかったため問題になっているようだ。教育委員会として、どのような対応をしているのか、お聞きしたい。

教育長 学校、教育事務所、教育委員会の三者で十分連絡を取り合っており、教員の確保に努めている。京築管内、県内にも理科の教員が少なく、県外でも捜しているが、いない状況だ。

榎本議員 教育や福祉の充実で人口増を目指している市町村が多数ある。豊前市は財政状況が厳しいことは承知しているが、

学校給食費を無料にすることで人口増を目指してはどうか。

市長 無料では物の大きさが分からないと思う。10円でも100円でも負担することが大切であり、それが教育だと考える。

中村議員 学校教育の中で主役は児童・生徒であり、その子どもたちの目線に立つために9月議会の際に教育長に対して、子どもたちが今どのような遊びをし、どのようなテレビ番組を見ているのか尋ねたときに、知らないということだったので、是非見聞きするように要請していたが、その後どうしたのかお伺いしたい。

教育長 いろんな人から聞いたところによると、今、子どもたちの間で流行している遊びはカードゲームの様だ。また、歌やテレビ番組ではAKB48が流行っているみたいだ。

中村議員 豊前市では小規模特認校を指定しているが、その学校にしかない魅力をPRすれば、そこに行かせたいと思う保護者が増えると思う。例えば、ここの小学校に行けば英語の授業が凄いななどのPRが必要と思うが、どのような形で紹介しているのか。

教育課長 新1年生になる子どもが就学時検診の時に紹介している。また、毎月の市報でも特

色や授業風景等を掲載しPRを行っている。

中村議員 今年度から小学校5、6年生でも英語授業が始まり、中学校では英語の授業が24年度から週1時間増える。週1時間増えたことで、内容やレベル等がどのように変わるのか伺いたい。

教育長 内容の変化や習熟度については、今わからないので調べたい。

中村議員 全国で約60の自治体が英語教育特区というのを申請しているようだ。「豊前市の学校に行けば英語が話せるようになる」と言われれば人口増対策にもなると思うので、併せて調査、検討をお願いしたい。

※1 豊前市コンパクトシティ特区申請

榎本議員 市は地域活性化総合特区として豊前市コンパクトシティ特区を申請しているが、もし特区に承認されないときは、この取組みはどのようなものか。

市長 福岡県と北九州市、福岡市のグリーンアジア国際戦略総合特区は承認されたようだが、豊前市の申請は保留となっている。来年度は承認してもらえよう魅力あるものにしていきたい。

色や授業風景等を掲載しPRを行っている。

※1 豊前市コンパクトシティ特区とは

規制緩和により市バスの運行を弾力化し、市民の利便性と交流人口の増加を図り、自立可能な地域づくりを進めていくものです。

榎本議員 市民の利便性と交流人口の増加を図るため、市バスの宇島駅への乗り入れは重要と思うが、改善の予定はあるのか。

総務課長 フレスポ豊前のオープンと同時にダイヤ改正を予定している。現在、宇島駅には12本のバスが乗り入れているが、改正後は岩屋線と轟線の全24本が乗り入れる予定だ。なお、フレスポ豊前には4路線全便の乗り入れを予定している。

榎本議員 特区申請の中に「観光の足」「高齢者の生活の足」など市バスの活用を提起しているが、どのような考えなのか伺いたい。

総合政策課長 現在の市バスは許可された路線内ではしか運行が出来ないが、今回の特区の申請では市バスの規制緩和を求めており、認められれば自由運行が可能になる。そうすることで予約制やデマンド交通等が可能となる。

※2 デマンド交通とは

電話等による(複数の)利用者の要求に応じて希望の乗車点へ迎えに行く形の交通です。通常は複数の利用者に乗せるので、乗り合い型の利用形態となります。

榎本議員 また同様に、特区申請の中に「多目的文化交流センターを情報発信基地とする」とあるが、観光客の多くは宇島駅を拠点とすると思う。そこに情報発信基地を設けてはどうか。

市長 宇島駅は年間約120万人、道の駅は約130万人の利用があるようだ。市外の利用が殆どで効率的な場所は道の駅と思うが、今回、市の中心部に商業施設などが出来るので、そこがいいのではと考える。

榎本議員 駅前情報発信基地を作ることで、住民票や印鑑証明などの発行業務を行政主導型のNPO法人にさせ、市民への利便性を同時に図ってはどうか。

市長 良い提案だと思っております。検討したい。

榎本議員 交流人口の増加を図るために観光資源として求善提山は非常に重要と考える。その求善提山に吊り橋かロープウェイがあれば観光客が増えると思うので、併せて検討をお願いしたい。

●●● 委員会で視察研修を実施しました!! ●●●

総務、産業建設、文教厚生各常任委員会は、それぞれの委員会が抱えるテーマ、課題等について行政視察を行いました。

産業建設委員会

平成23年8月2日～3日に京都府城陽市と大阪府箕面市で「遊休農地解消対策について」視察研修を実施しました。

城陽市では農業委員自らがボランティアで荒廃農地を開墾し、所有者の同意を得て市内の家庭菜園グループに農地を貸出しています。

箕面市では担い手の育成として「農業サポーター制度」を創設しています。これは、農業に関心のある人や企業を定年退職した人等を対象にサポーター登録を募集し、農地を貸すのではなく、農家の手伝いをしてもらうという制度で、経営規模拡大を目指す農業者が農業サポーターの支援を受けながら、遊休農地を借り受けて耕作することで耕作放棄地の解消・再生が図られているということでした。



文教厚生委員会

平成23年10月26日～28日に愛知県知多市と犬山市、岐阜県美濃市で視察研修を実施しました。

知多市では「資源ごみのリサイクルへの取組みについて」研修しました。知多市は売上金の地元還元を行う「地域回収」と、住民団体等への奨励金により支援を行う「集団回収」の2方式の回収によりリサイクルへの取組みを行っています。

犬山市では「学びの学校づくりについて」研修しました。犬山市の学校教育は、すべての子どもの学びを保障することに主眼をおき、市内の各学校が「犬山の子は犬山で育てる」という共通の目標を持ち、それぞれの学校づくりを追い求めています。

美濃市では「地域づくり支援事業について」研修しました。美濃市は地域の活力を引き出すため、地域住民自らが考え取り組む地域づくり事業に対し財政支援等を行い、市民参加・市民協働による活力ある地域づくりを実現していました。



総務委員会

平成24年1月18日～19日に内閣府と総務省で研修を実施しました。

内閣府では、「総合特区制度について」研修しました。豊前市では昨年、コンパクトシティ特区を申請しましたが指定が見送られた経緯があるため、他市の状況などについて意見交換をしました。

総務省では「防災対策について」研修しました。昨年の東日本大震災以降、防災への意識が高まっており、防災対策について意見交換をしました。



次の定例市議会は 2月です

■ 議会を傍聴しましょう ■

市議会の様子を知る最もよい方法です。
多数の方の傍聴をお待ちしています。

2月議会日程表(予定)	
日 時	会 議
2月7日(火)	本 会 議 (議案上程など)
2月8日～13日	休 会
2月14日(火)	本 会 議 (一般質問)
2月15日(水)	本 会 議 (一般質問)
2月16日(木)	本 会 議 (一般質問)
2月17日(金)	常任委員会
2月20日(月)	常任委員会
2月21日(火)	常任委員会
2月22日(水)	常任委員会
2月23日(木)	予 備 日
2月24日(金)	本 会 議 (採決など)

※議会日程については、変更になる場合がありますのでご了承ください

■ 編集後記 ■

昨年は東北地方で地震や大津波、また、それによる原発事故で、多くの方が家を無くされ被災されました。和歌山でも土砂災害により多くの方を亡くしてしまった一年でした。一日も早い復興を心から願っております。

本年は豊前市では市議会議員の選挙の年に当たります。定数2名の削減で議員に課せられた役割は大変重くなります。

今後、地方分権の推進に伴い、委ねられた地方議会の役目を担う議員一人ひとりの重さが問われ、重大さを感じさせられる時代に入ります。

市民の皆様には議会の大切さを知っていただくために、これからは市民との絆を大切にしていきたいと思っております。

岡本 清靖

◆ 編集：編集委員会

〈編集委員〉委員長：今本文徳 副委員長：鎌田晃二
委員：古川哲也、岡本清靖、福井昌文

◆ 印刷：上森印刷所